

第2回 本屋の店員さんが選ぶ

シニア川柳

応募総数 401 点。たくさんの

ご応募ありがとうございました。

入選作品発表！



2014.12.1

お題 「いきいき・挑む」

入選作品！

入

選

発

表

！

掲載順は順不同です。

元気です
皆勤賞の
医者通い
てるてる味さん
63歳

この子より
先に死ねぬと
亀なでる
鈴木 昌子さん
55歳

大活字に
読書老人
よみがえる
原 徒夢さん
84歳

いきいきと
してるつもりが
うすらぼけ
キクちゃんさん
88歳

還暦の
いきいき妻に
引きずられ
いとう 滋さん
64歳

老妻に
初恋のごと
面会す
大正十四年さん
89歳

長寿国
天国今に
過疎となる
カラスの行水さん
70歳

さあやるぞ
始める動機
何だっけ
虚弱体質さん
63歳

年金日
昔乙女で
街生きる
カ石 昌代さん
77歳

大賞

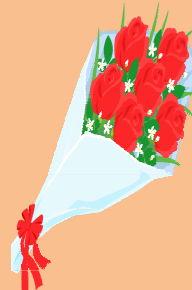


自分史に

嘘八百の

武勇伝

三郎さん
64歳



講評

第二回のシニア川柳でしたが、肩の力が抜けていて楽しみながら創られたとわかる作品がほとんどでした。入選作品を選ぶときは、何処の誰の作品かはわからないようにしているのですが、十作品を決めた後で確認すると、地元一関市の応募者が前回を超えて入選するという結果になり嬉しく思いました。

大賞候補に残った作品は二点で、一関図書館が新しくなり、大活字本をかなり多く並べられたので、「大活字に 読書老人 よみがえる」を、気持ちがよくわかると強く推す担当者も複数いましたが、作品全体が綺麗にまとまっていて破綻のない「自分史に 嘘八百の 武勇伝」が票数で上回り、こちらが大賞になりました。

「文化の間に 町の本屋が 灯をともし」 書店員(56歳)

主催：一関市シニア活動プラザ

協賛：一関市書店組合

